

令和4年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,017	4,955	△ 62	(注1)
施設整備費補助金	483	459	△ 24	(注2)
補助金等収入	224	322	99	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	-	
自己収入	2,313	1,960	△ 353	
授業料、入学金及び検定料収入	2,233	1,843	△ 390	(注4)
雑収入	80	117	37	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	744	940	196	(注6)
引当金取崩	-	-	-	(注7)
目的積立金取崩	219	285	67	(注8)
引当特定資産取崩	-	-	-	(注9)
計	9,019	8,941	△ 78	
支出				
業務費	7,549	7,129	△ 420	(注10)
教育研究経費	7,549	7,129	△ 420	
施設整備費	503	479	△ 24	(注11)
補助金等	224	271	47	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	744	937	194	(注13)
計	9,019	8,816	△ 203	
収入-支出	-	125	125	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、次年度への繰越額が発生したことに伴い、予算額に比して決算額が62百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部について交付決定金額よりも執行金額が少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が24百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、計画時では予定していなかった補助金の獲得に伴い、予算額に比して決算額が99百万円多額となっています。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が91百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、入金時期の変更に伴い、予算額に比して決算額が390百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として学校財産貸付の収入金額が予定より増加したことに伴い、予算額に比して決算額37百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等収入及び寄附金収入等については、主として計画時に予定していなかった受託研究収入の獲得に伴い、予算額に比して決算額が196百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、該当ありません。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更等により、目的積立金の取崩額が増額となったため、予算額に比して決算額が67百万円多額となっています。
- (注9) 引当特定資産取崩については、該当ありません。
- (注10) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が420百万円少額となっています。
- (注11) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が24百万円少額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が47百万円多額となっています。
- (注13) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が194百万円多額となっています。